

世界の食料高騰事情

JIMMY'S FOOD PRICE HIKE

日本語字幕・英語字幕版



21世紀の問題が食料価格に及ぼす影響とは？

食料価格は高騰し続けている。英国では最近6年で、食料品全体で25%も上昇したという。食料を輸入している国では、価格高騰はその国の経済を左右する重大な問題である。

ではなぜ、食料価格は高騰し続けるのだろうか？

英国で農業を営むタレント、ジミー・ドハーティが世界各地に赴き、食料の高騰の原因やその対策を探る。21世紀の食料高騰は、バイオ燃料生産の拡大や、異常気象、アジア諸国の急速な経済発展、原油価格変動などさまざまな影響を受けていることが明らかになる。

1巻



トウモロコシ



卵



コーヒー

2巻



豚肉



小麦



カカオ

3巻



米



牛肉



鮭



世界の食料高騰事情 原題: Jimmy's Food Price Hike

日本語字幕版監修: 作山 巧 (明治大学農学部食料環境政策学科 准教授) | プレゼンター: ジミー・ドハーティ Jimmy Doherty

DVD | 全3巻 | 日本語字幕・英語字幕版 (音声: 英語) | 各巻50分 | 2015年 (原版 2014年) | 日本語字幕版制作: 丸善出版株式会社

価格: セット 本体 120,000円+税 各巻 本体 40,000円+税 | 原版制作: © An Oxford Scientific Films production for Channel 4 2014

世界の食料高騰事情

JIMMY'S FOOD PRICE HIKE

日本語字幕監修：作山 巧 (明治大学農学部食料環境政策学科 准教授)
DVD | 全3巻 | 日本語字幕・英語字幕版 (音声：英語) | 各巻50分
価格：セット 本体 120,000円+税 各巻 本体 40,000円+税
2015年 (原版 2014年) | 日本語字幕制作：丸善出版株式会社
原版制作：© An Oxford Scientific Films production for Channel 4
プレゼンター：ジミー・ドハーティ Jimmy Doherty

監修のことば

私たち日本人の豊かな食生活は、その6割を海外から輸入することで成り立っています。食料の生産は不安定で、価格の乱高下はつきものです。このため、世界の食料事情について、過度に危機感を煽るのは良くありませんが、無関心でいられないのも事実です。このシリーズは、パンやコーヒーなど身近な食材を取り上げ、豊富な海外取材を交えることで、私たちの食卓と海外の生産現場とのつながりを実感させてくれる優れた教材です。

作山 巧

1

トウモロコシ・卵・コーヒー



トウモロコシ：近年のバイオ燃料産業の成長で燃料用トウモロコシの需要が増大。エネルギー産業の浮き沈みが食用トウモロコシ価格に影響している。

[取材地：米国]



卵：安価で大量に卵を生産できた鶏飼育法、バタリー飼育は倫理面で問題視されるようになった。新しい飼育法への転換は卵の価格にどのような影響を及ぼしているのだろうか？

[取材地：英国]

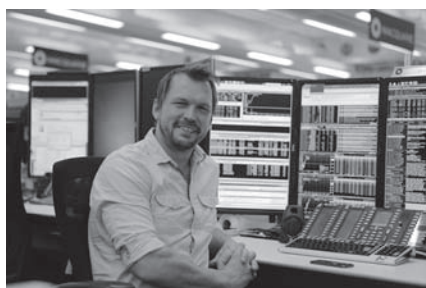


コーヒー：生産地の異常気象の影響によるコーヒーの木々の病虫害や干ばつで生産量が減少。また今後は気候変動により栽培適地が減少し、価格は高騰し続けると予測されており、科学的な解決法が模索されている。

[取材地：エチオピア]

2

豚肉・小麦・カカオ



豚肉：中国や台湾の食生活が変化し、この二国の豚肉輸入量が増加。養豚の主な餌である大豆が高騰しそれに伴い豚肉も高騰した。新興アジア地域の消費者は食のシステムを変え、価格に影響を与えている。

[取材地：台湾]



小麦：世界での主な生産地である米国、オーストラリアでの異常気象により起こった干ばつで収穫量が減少。また、都市開発によるかんがい用水の減少による水不足という新たな問題にも直面している。

[取材地：米国]



カカオ：カカオは国際的に需要が増加しているが、生産が増えず価格が高騰している。生産が増えない理由の一つに、価格上昇が農家に還元されず、農家のカカオ離れが進んでいることがあり、農家の生産意欲を高めるべく、政府やメーカーでは対策を講じている。

[取材地：ガーナ]

3

米・牛肉・サケ



米：インドが急激な人口増加対策として自国産米を蓄え、輸出を制限し価格が上昇。この影響で他の国でも備蓄を増やし流通量が減少したことが高騰の一因ともいわれる。対策の一つとしてアフリカで米の育種や農地の開発が進められている。

[取材地：インド、ガーナ]



牛肉：肉牛の飼育では、長距離輸送や大規模な機械操作にかかる燃料代が高いため、牛肉の価格は、石油価格に依存している。近年は中国を筆頭とする新興国での需要急増の影響も価格に影響している。

[取材地：米国]



サケ：乱獲により天然物の漁獲量が減少したため、安全で持続可能な養殖が増えていく。システム維持のためのコスト増により価格が高騰しているが、サケ養殖はタンパク源を効率的に生産できるシステムとして世界から期待されている。

[取材地：英国 (スコットランド)]

著作権処理済作品

●このDVDは、Institutional Useとしてご利用いただけるよう授業使用及び学校図書館、公共図書館、視聴覚ライブラリー、企業等々での無償上映・館外貸出権をクリアしています。

原版制作：© An Oxford Scientific Films production for Channel 4 2014 提供：BBC Active 日本総代理店・発行：丸善出版株式会社

BBC ACTIVE Distributed under licence from BBC Active, an imprint of Educational Publishers LLP



写真：© Oxford Scientific Films 2014

発行：丸善出版株式会社 映像メディア部
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-17 神田神保町ビル 6F
TEL 03-3512-3252 FAX 03-3512-3271
http://pub.maruzen.co.jp/

お問い合わせ・ご注文は下記までお願いします。